

ひとり親世帯の生活に関するアンケート 報告書

平成 29 年 12 月

奈良市

— 目 次 —

I.	調査の概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査方法	1
3.	調査対象者と回収数	1
4.	調査期間	1
5.	報告書の見方	1
II.	調査結果	2
問 1	ひとり親世帯の状況	2
問 2	同居家族と子の学齢	2
問 3	世帯の可処分所得	3
問 4	先生・家族以外に子どもが接する大人の有無	5
問 5	子どもの放課後の居場所の有無	7
問 5-1	子どもの放課後の居場所	8
問 6	就業状況	12
問 6-1	勤務時間と休日	13
問 6-2	未就業者の未就業理由	19
問 7	相談相手の有無	20
問 7-1	相談相手	21
問 8	生活に関する悩み事	23
問 9	市役所への相談方法	26
III.	調査票	28

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、平成28年度に実施した「奈良市子どもの生活に関するアンケート」等の実態調査の結果判明した、当市における困難な状況にあるひとり親世帯を対象にアンケート調査を実施し、アンケート結果の分析内容を本年度策定する「奈良市子どもの豊かな未来応援プラン(奈良市子どもの貧困対策計画)」行動計画に反映することを目的とする。

2. 調査方法

児童扶養手当現況届申請書類にアンケート調査票を同封して郵送し、児童扶養手当現況届提出時に調査員が回収。(調査票紛失者に対しては、アンケート調査票をその場で直接配布)

3. 調査対象者と回収数

調査対象者:児童扶養手当現況届申請者 計2,816名

回収数:2,637票

回収率:93.6%

有効回収数:2,502票

有効回収率:88.8%

無効票:135票

4. 調査期間

児童扶養手当現況届提出期間 22日間

平成29年8月1日(火)～同月31日(木)ただし、祝日及び土曜、日曜日は除く。

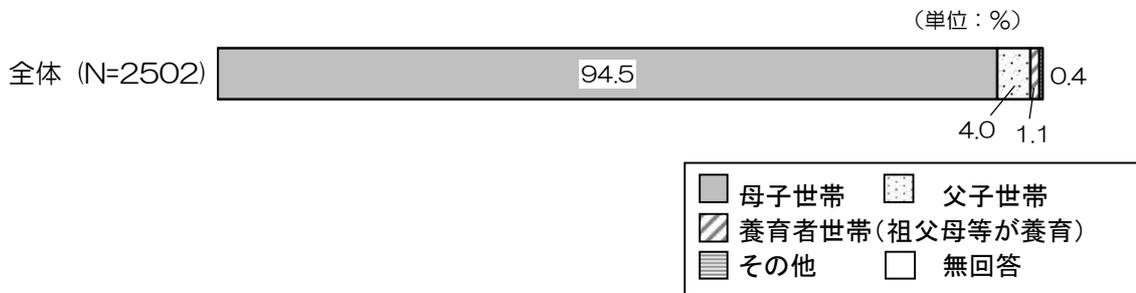
5. 報告書の見方

- (1)集計結果は、小数点第2位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が100.0%とならないことがある。
- (2)複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- (3)クロス集計による層別の分析において、各層の回答者数の合計が全体の回答者数と一致しない場合があるのは、クロス集計に使用した設問における無回答者が含まれないためである。

Ⅱ. 調査結果

問1. あなたの世帯は次のどれにあてはまりますか。

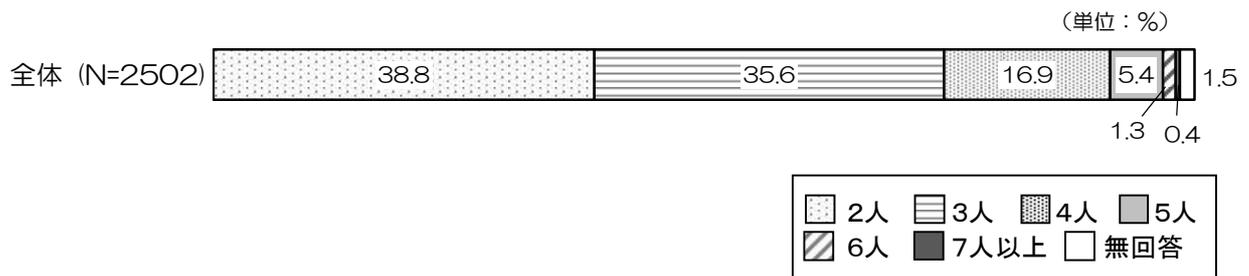
「母子世帯」が 94.5%で最も高く、次いで「父子世帯」が 4.0%となっている。



問2. あなた以外の家族構成を教えてください。(あてはまるものにすべて○)

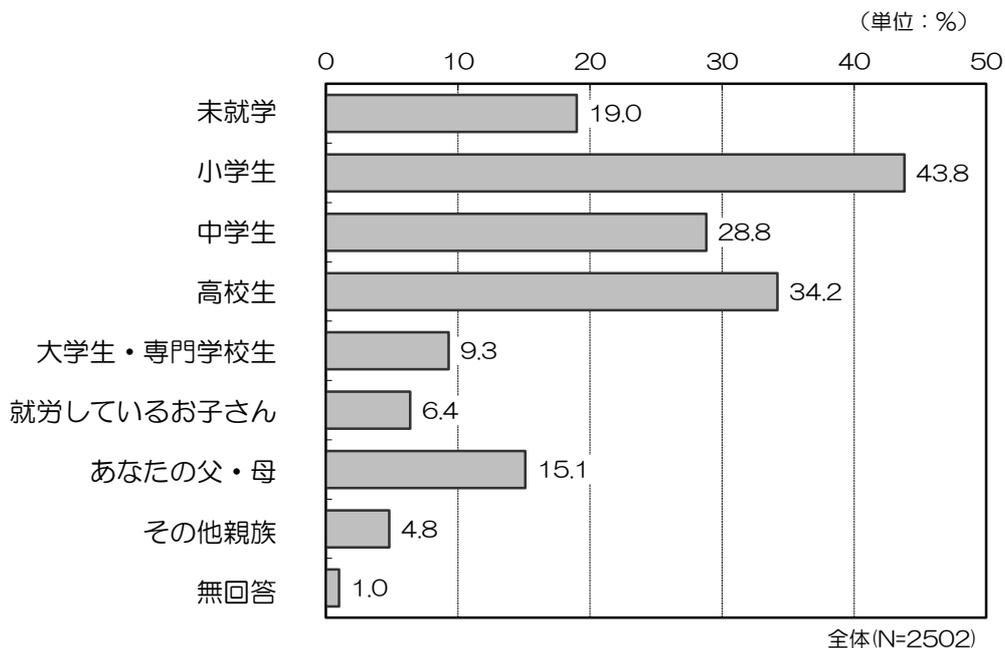
1) 世帯人数

「2人」と回答した割合が 38.8%と最も高く、次いで「3人」が 35.6%となっている。



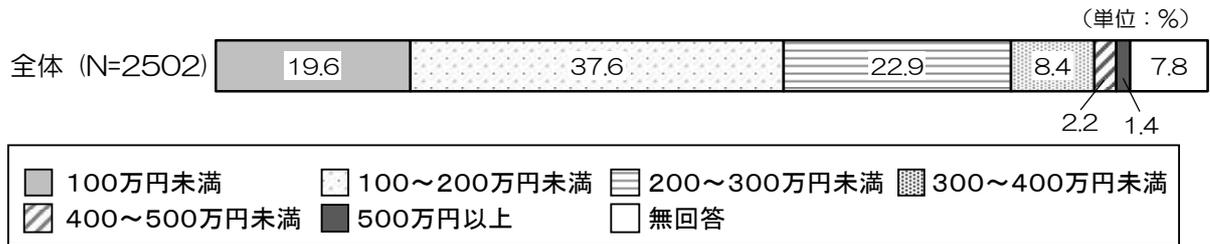
2) 同居家族

「小学生」と回答した割合が 43.8%と最も高く、次いで「高校生」が 34.2%、「中学生」が 28.8%となっている。



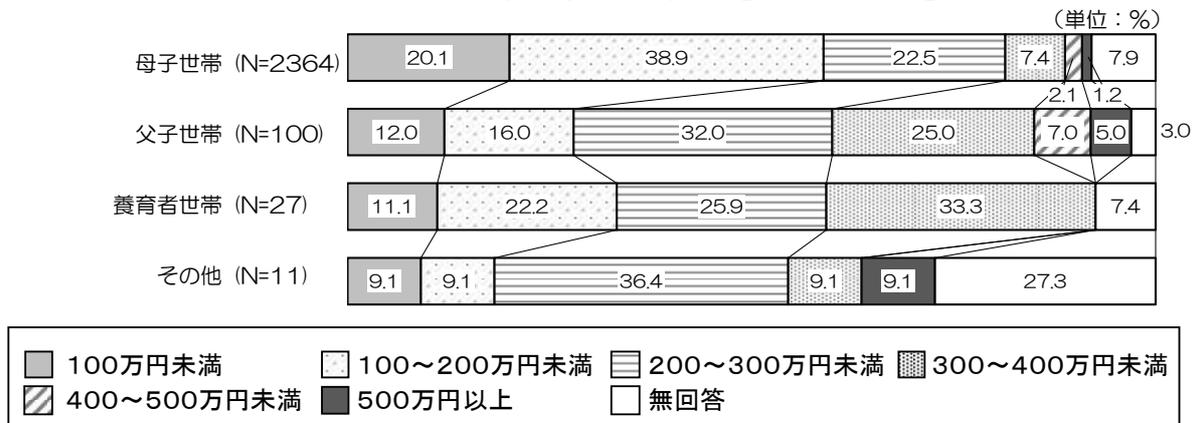
問3. あなたの世帯の手取り(公的手当を含む)収入の年間額はいくらですか。

「100～200万円未満」と回答した割合が37.6%と最も高く、次いで「200～300万円未満」が22.9%、「100万円未満」が19.6%となっている。【200万円未満】が57.2%、【300万円以上】が12.0%となっている。



【世帯状況別】

世帯状況別にみると、【200万円未満】の割合は父子世帯では28.0%、養育者世帯では33.3%と母子世帯と比べて低い割合となっている。また、父子世帯と養育者世帯では【300万円以上】と回答した割合が高い。



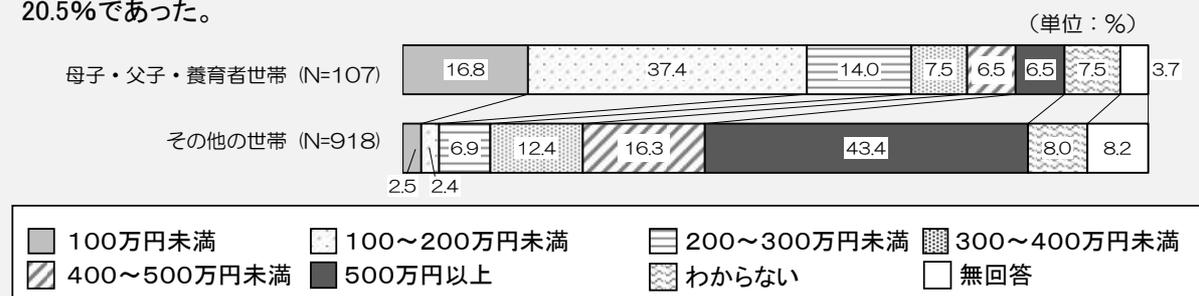
※参考 「奈良市子どもの生活に関するアンケート(平成28年度)」との比較 ～世帯の可処分所得～

「奈良市子どもの生活に関するアンケート」(保護者編)

問22 前年(平成27年)のあなたの世帯の手取り収入(いわゆる可処分所得)の合計額は、およそいくらでしたか。世帯の収入から、税金や社会保険料の額を差し引いた後の額で教えてください。(1つだけに○)

対象者：市内小学5年生の児童とその保護者、中学2年生の生徒とその保護者
抽出条件：市内小学5年生・中学2年生それぞれ学級単位で無作為抽出

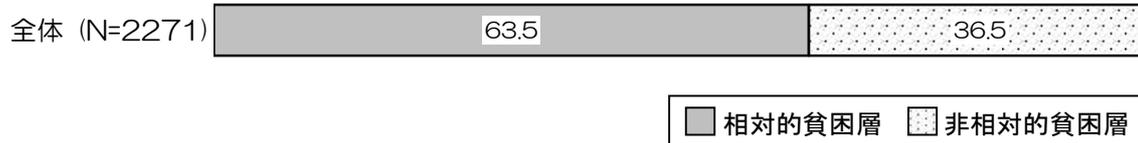
【200万円未満】の割合は、その他の世帯では4.9%に対し、母子・父子・養育者世帯では54.2%であった。【300万円以上】の割合は、その他の世帯で72.1%、母子・父子・養育者世帯で20.5%であった。



■ 相対的貧困層の区分

本調査では、「奈良市子どもの生活に関するアンケート(平成 28 年度)」における集計方法と同様に、世帯人数と世帯の可処分所得から相対的貧困層と非相対的貧困層を区分した。

相対的貧困層の割合



	世帯人数	回答者数	世帯の可処分所得					
			100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500万円以上
	2人	909	25.3% (230人)	42.8% (389人)	22.4% (204人)	6.8% (62人)	1.4% (13人)	1.2% (11人)
	3人	815	18.2% (148人)	40.0% (326人)	28.1% (229人)	9.9% (81人)	2.6% (21人)	1.2% (10人)
	4人	390	18.7% (73人)	37.9% (148人)	26.2% (102人)	12.6% (49人)	3.1% (12人)	1.5% (6人)
	5人	125	19.2% (24人)	40.8% (51人)	20.8% (26人)	10.4% (13人)	5.6% (7人)	3.2% (4人)
	6人	26	26.9% (7人)	46.2% (12人)	7.7% (2人)	11.5% (3人)	3.8% (1人)	3.8% (1人)
	7人以上	6	16.7% (1人)	50.0% (3人)	16.7% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	16.7% (1人)

■ 内: 相対的貧困層(1441人)
 その他 : 非相対的貧困層(830人)

※(非)相対的貧困層集計について

「奈良市子どもの生活に関するアンケート(平成 28 年度)」報告書より抜粋

本調査では「親と子の生活意識に関する調査(内閣府 平成 23 年度)」における分析方法を参考に、等価可処分所得(世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得)の中央値の半分(貧困線)に満たない世帯を、相対的貧困層と想定した。しかし、本調査では世帯人数と可処分所得の回答のみで相対的貧困層と非相対的貧困層を区分しており、相対的貧困層に該当した世帯全てが実際の生活に困難を抱えているものではない。

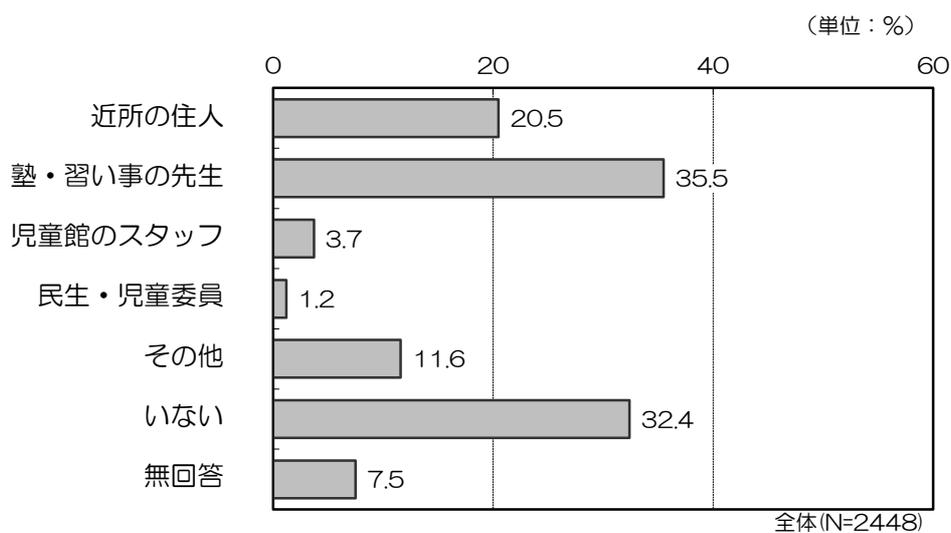
(内閣府調査では、世帯人数と世帯収入(税込)との関係で分類しており、本調査とは世帯収入の選択肢区分が異なる)

【問4、問5、問5-1】

高校生までのお子さんについておたずねします。対象のお子さんが2人以上いる場合は、一番上のお子さんのことをお答えください。

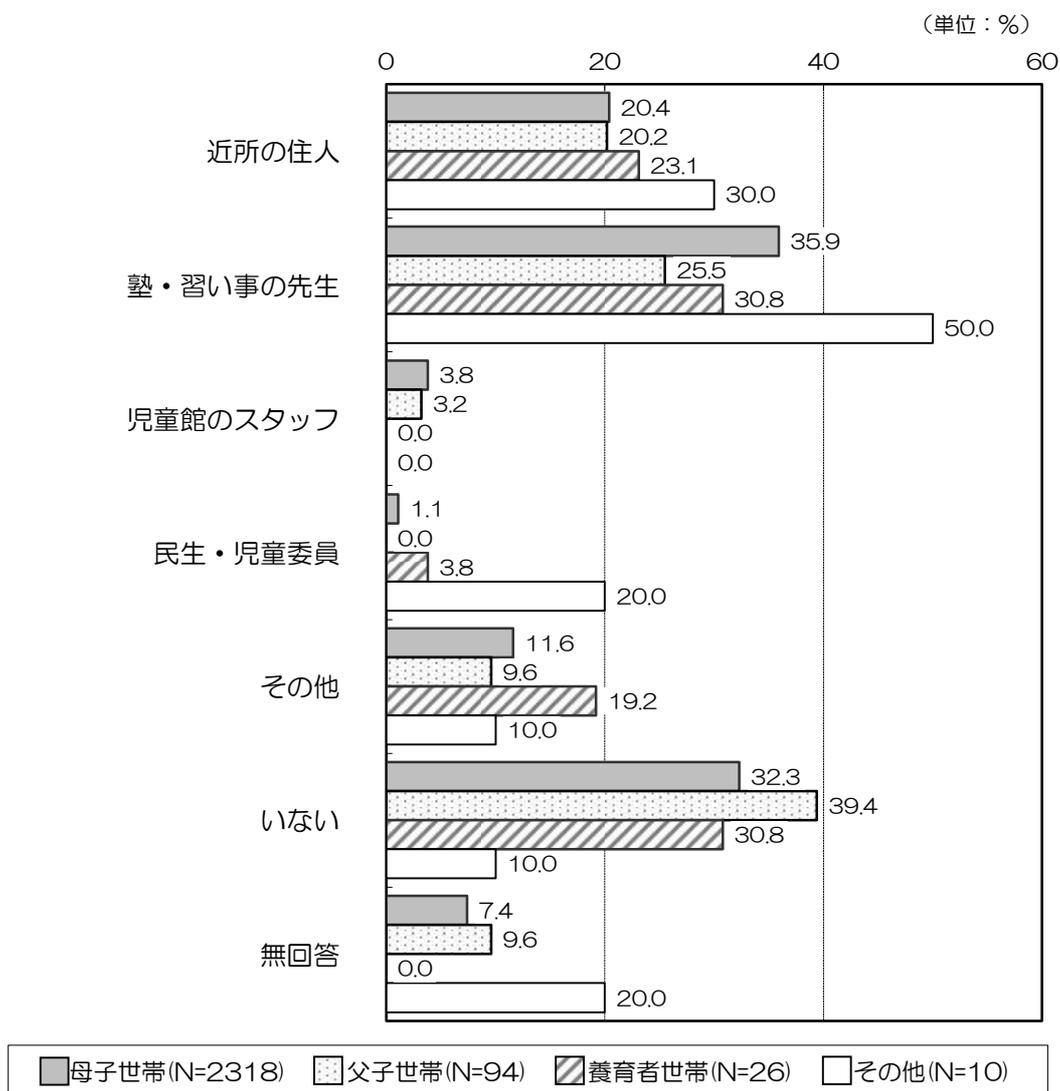
問4. 学校(園)の先生や家族以外にお子さんと、あそびや学習などでよく接する大人はいますか。(あてはまるものにすべて○)【高校生までのお子さんについて】

「塾・習い事の先生」と回答した割合が 35.5%と最も高く、次いで「いない」が 32.4%、「近所の住人」が 20.5%となっている。



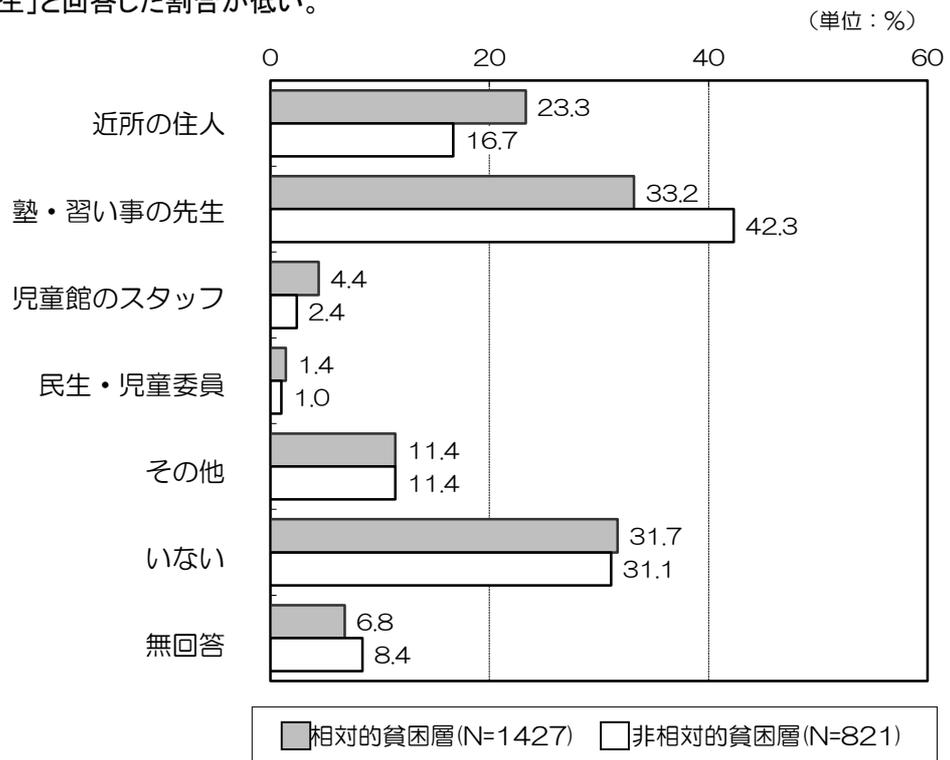
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、父子世帯では他世帯と比べて、「いない」と回答した割合が高く、「塾・習い事の先生」と回答した割合が低い。



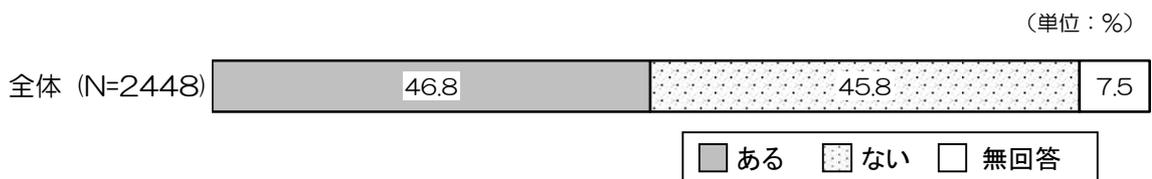
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「近所の住人」と回答した割合が高く、「塾・習い事の先生」と回答した割合が低い。



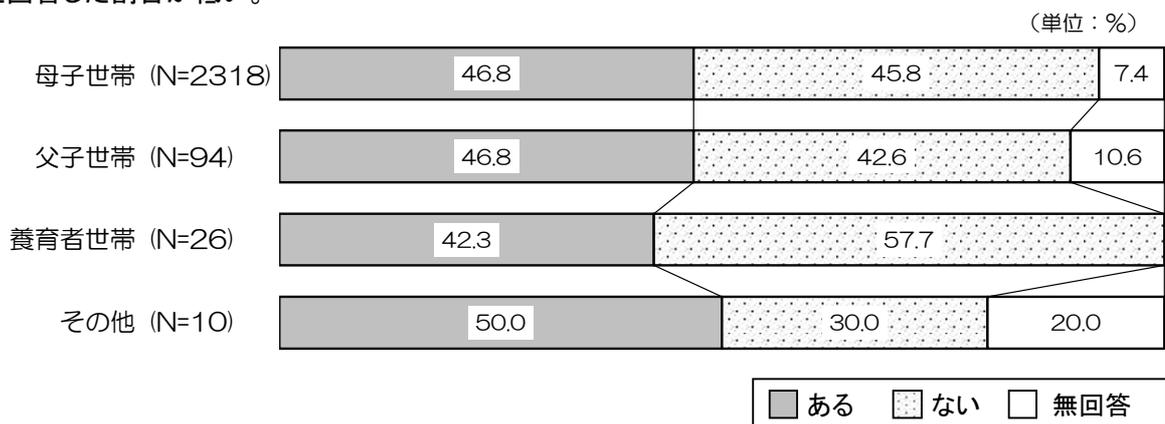
問5. 放課後、自宅以外にお子さんがよく過ごす場所がありますか。【高校生までのお子さんについて】

「ある」と回答した割合が46.8%、「ない」が45.8%となっている。



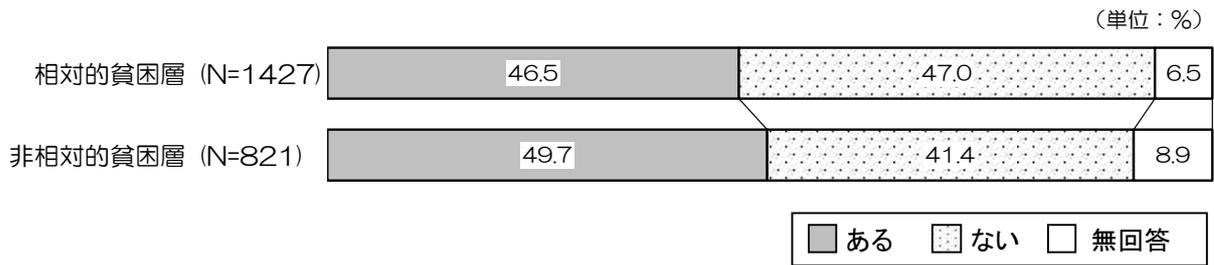
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、養育者世帯では他世帯と比べて、放課後、自宅以外にお子さんがよく過ごす場所が「ある」と回答した割合が低い。



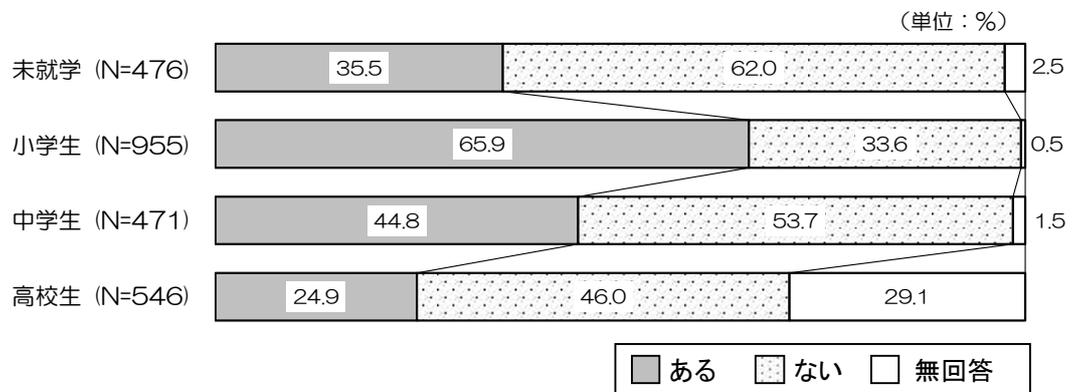
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、放課後、自宅以外にお子さんがよく過ごす場所が「ある」と回答した割合が低い。



【末子の学齢別】

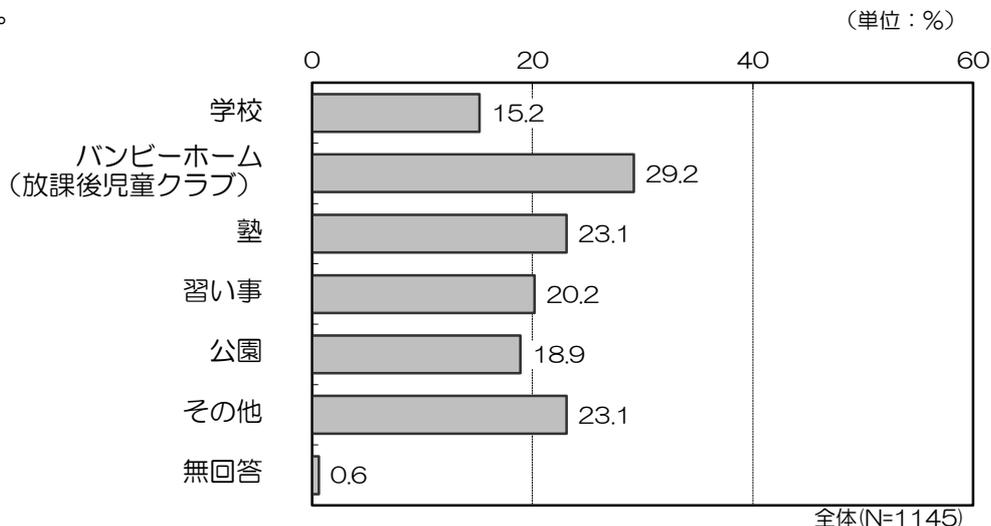
末子の学齢別にみると、末子が小学生では放課後、自宅以外にお子さんがよく過ごす場所が「ある」と回答した割合が最も高く、末子が高校生では最も低い。



問5 放課後、自宅以外にお子さんがよく過ごす場所がありますか。

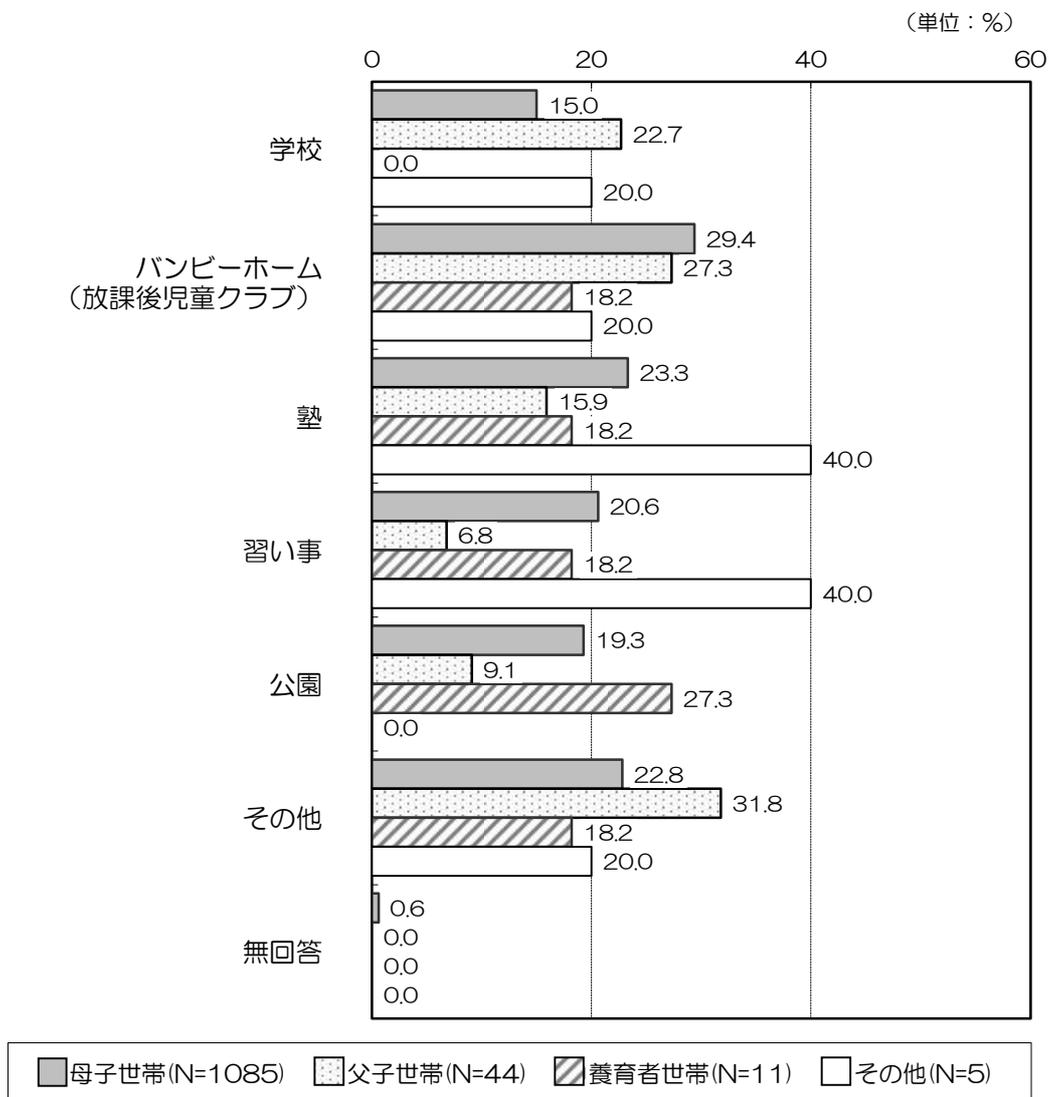
問5-1. 問5で「1 ある」と答えた方におたずねします。そこはどこですか。(あてはまるものすべて○)【高校生までのお子さんについて】

「バンビーホーム(放課後児童クラブ)」と回答した割合が 29.2%と最も高く、次いで「塾」「その他」が 23.1%となっている。



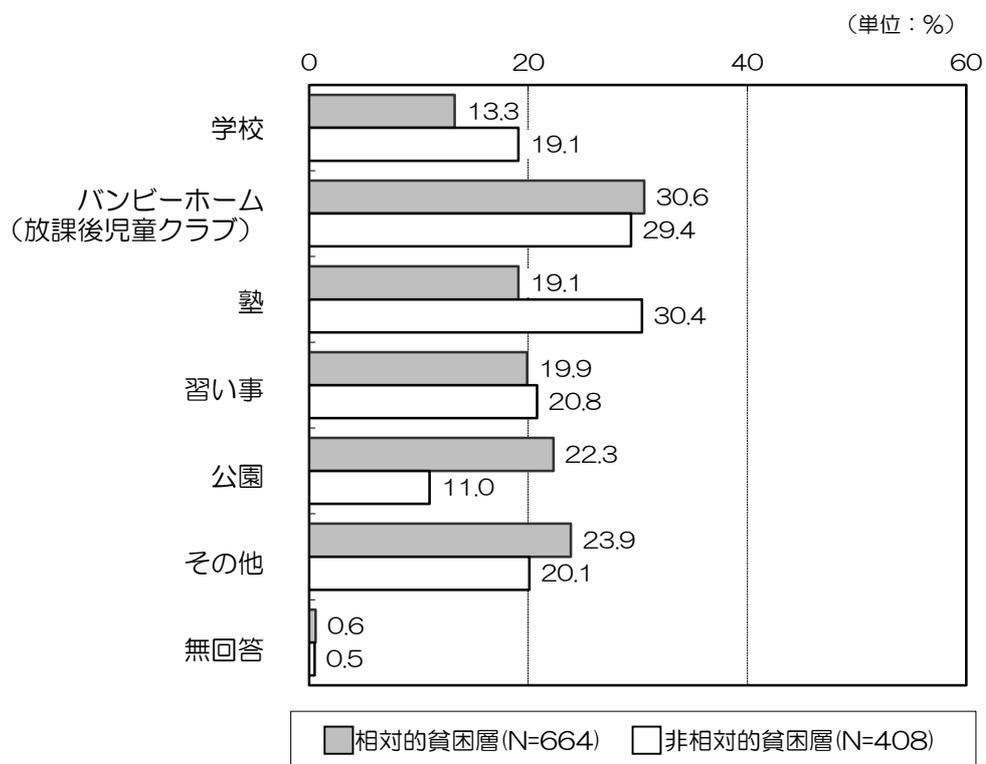
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、父子世帯では他世帯と比べて、「学校」「その他」と回答した割合が高く、「塾」「習い事」「公園」と回答した割合が低い。養育者世帯では他世帯と比べて、「公園」と回答した割合が高く、「バンビーホーム(放課後児童クラブ)」と回答した割合が低く、「学校」の回答はなかった。



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「公園」と回答した割合が高く、「学校」「塾」と回答した割合が低い。



※参考「奈良市子どもの生活に関するアンケート(平成 28 年度)」との比較
 ～普段の放課後過ごす場所～

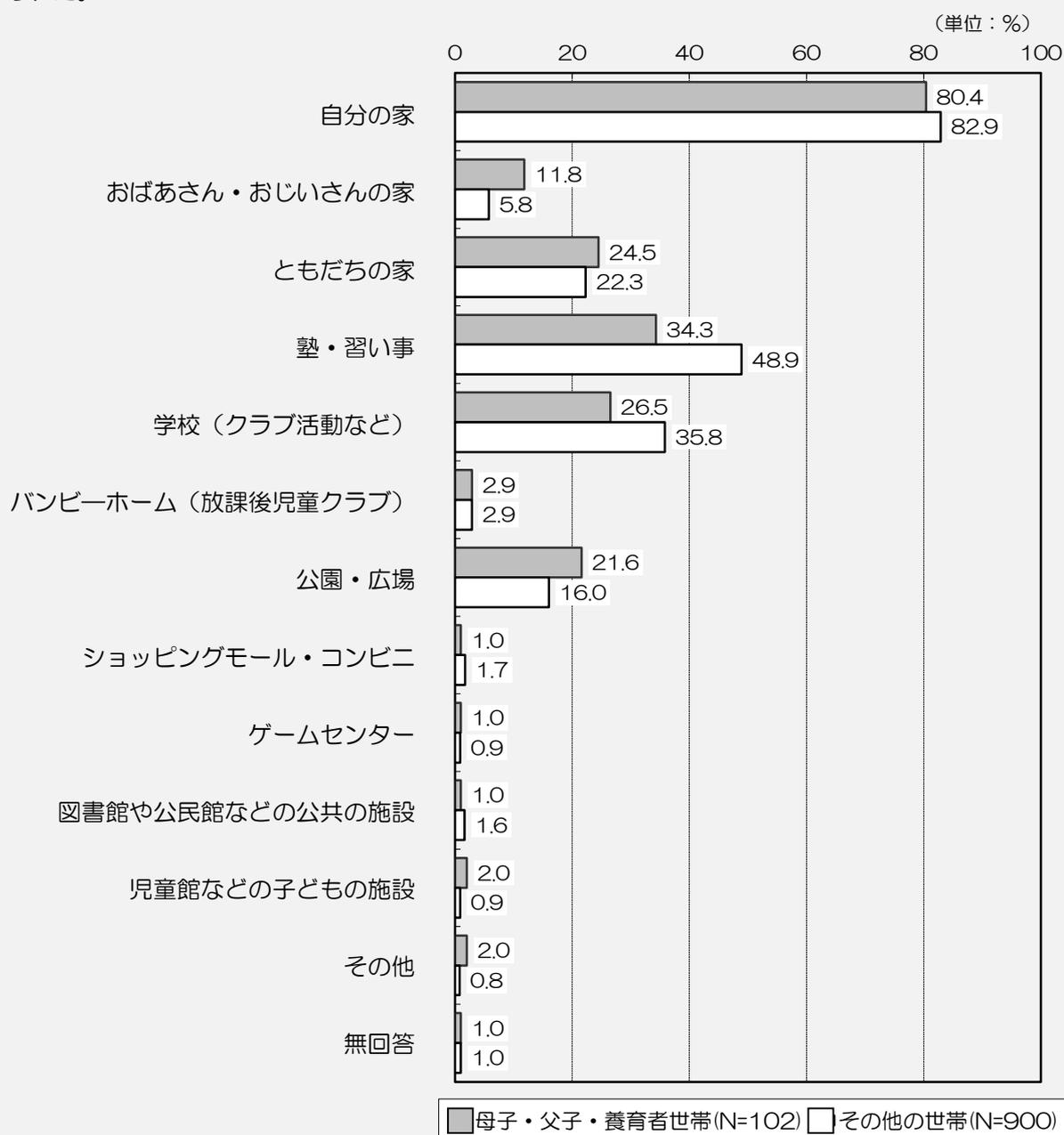
「奈良市子どもの生活に関するアンケート」(子ども編)

問 15 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、どこで過ごしますか。(あてはまる番号すべてに
 ○を付けてください。

対象者:市内小学5年生の児童とその保護者、中学2年生の生徒とその保護者

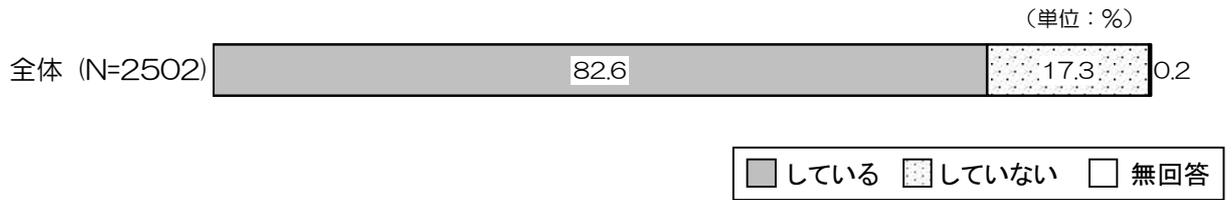
抽出条件:市内小学5年生・中学2年生それぞれ学級単位で無作為抽出

母子・父子・養育者世帯とその他の世帯(父母世帯)を比べると、母子・父子・養育者世帯の方が「おばあさん・おじいさんの家」「公園・広場」が高く、「塾・習い事」「学校(クラブ活動など)」が低い傾向がみられた。



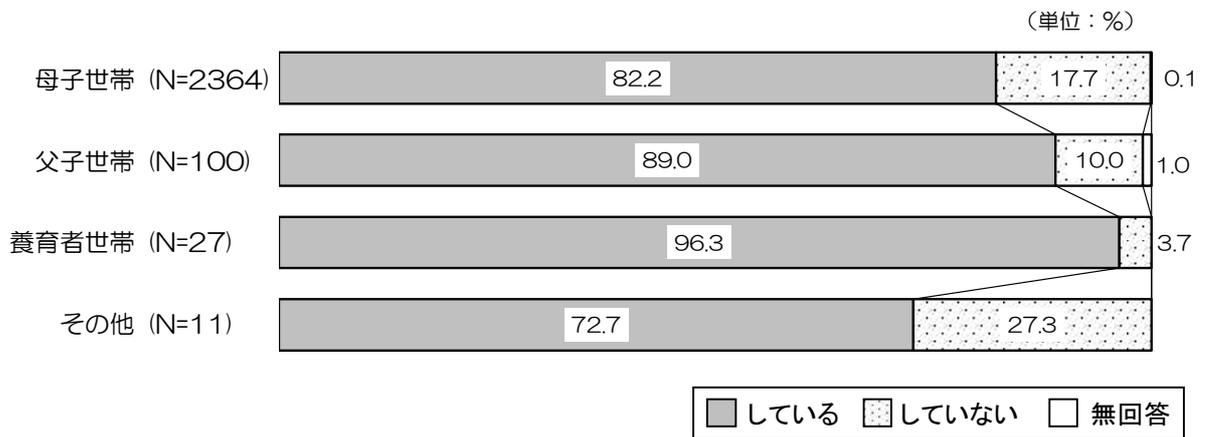
問6. あなたは現在仕事をしていますか。

「している」と回答した割合が82.6%、「していない」が17.3%となっている。



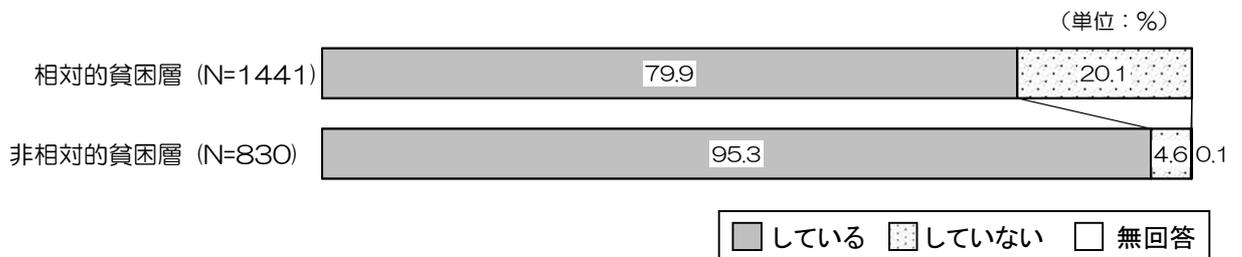
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、父子世帯・養育者世帯では母子世帯・その他の世帯に比べて、「している」と回答した割合が高い。



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「している」と回答した割合が低い。



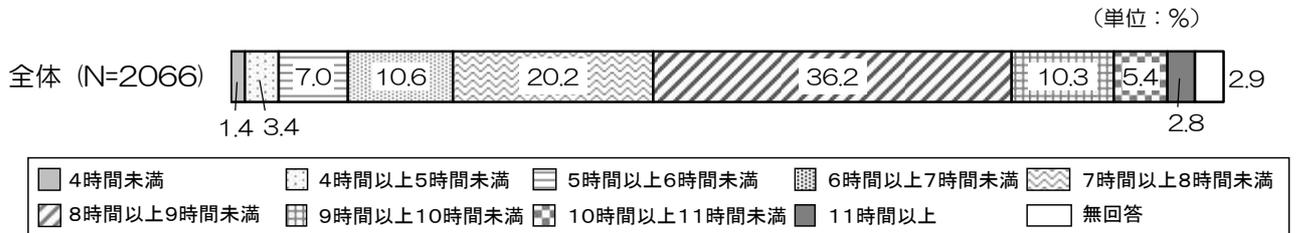
問6 あなたは現在仕事をしていますか。

問6-1. 問6で「1 している」と回答した方におたずねします。

1日の勤務は平均何時間ですか。(残業を含む)また、お休みの日はいつですか。

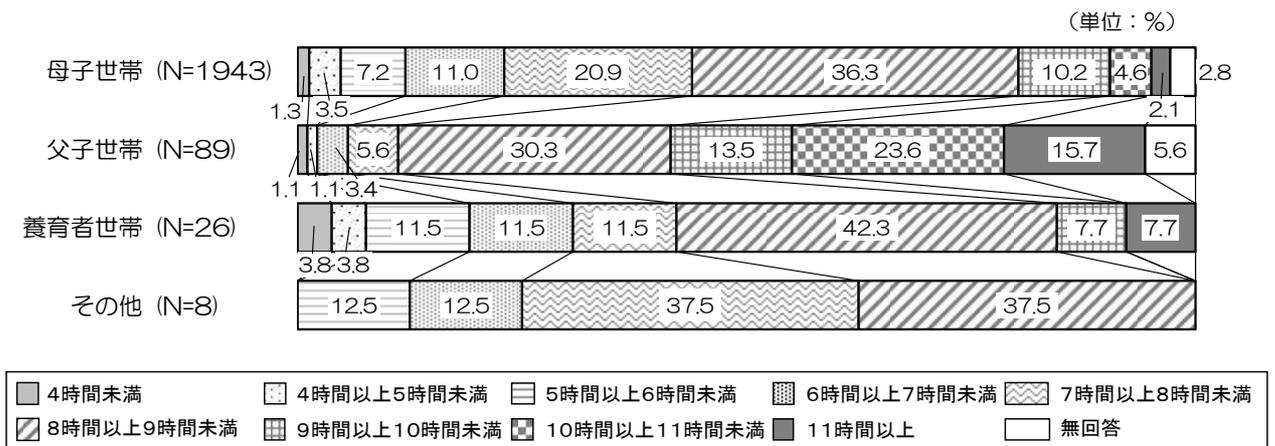
■1日の勤務時間(残業を含む)

「8時間以上9時間未満」と回答した割合が36.2%と最も高く、次いで「7時間以上8時間未満」が20.2%となっている。



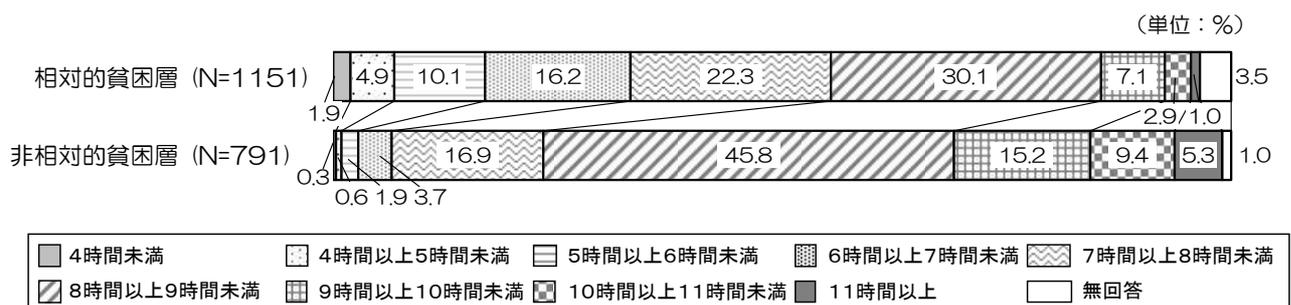
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、父子世帯では他世帯に比べて、【9時間以上】と回答した割合が高い。



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、【8時間未満】と回答した割合が高い。



問6 あなたは現在仕事をしていますか。

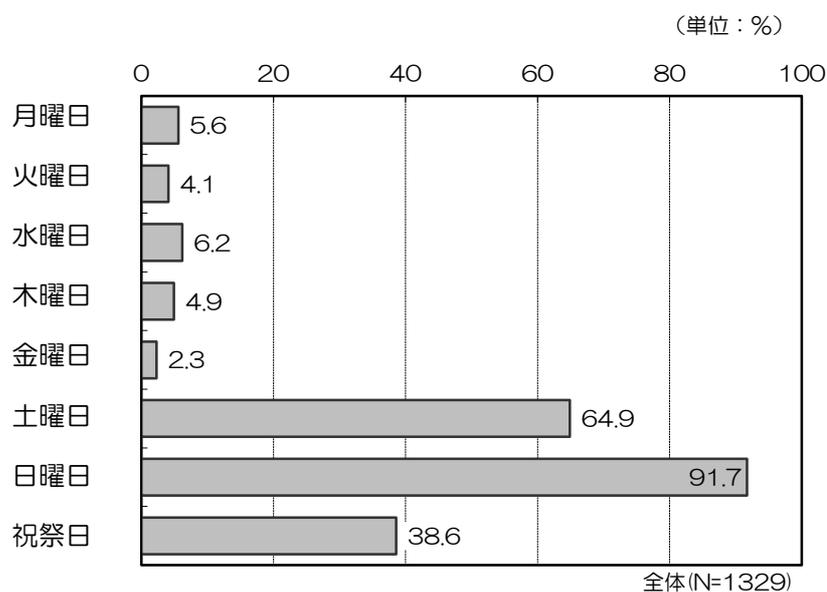
問6-1. 問6で「1 している」と回答した方におたずねします。

1日の勤務は平均何時間ですか。(残業を含む)また、お休みの日はいつですか。

■お休みの日

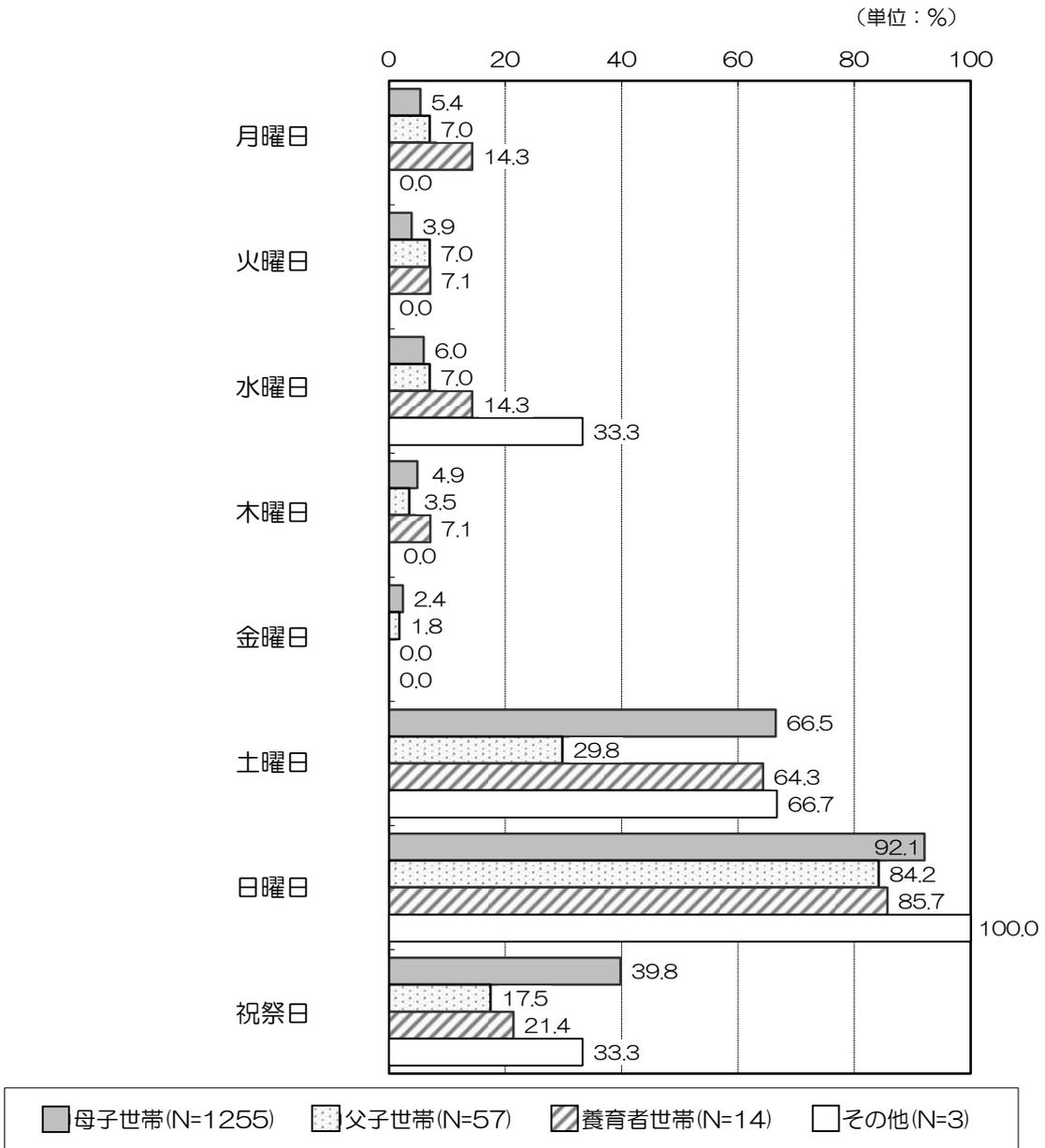
1) 休日の曜日

「日曜日」と回答した割合が91.7%と最も高く、次いで「土曜日」が64.9%、「祝祭日」が38.6%となっている。



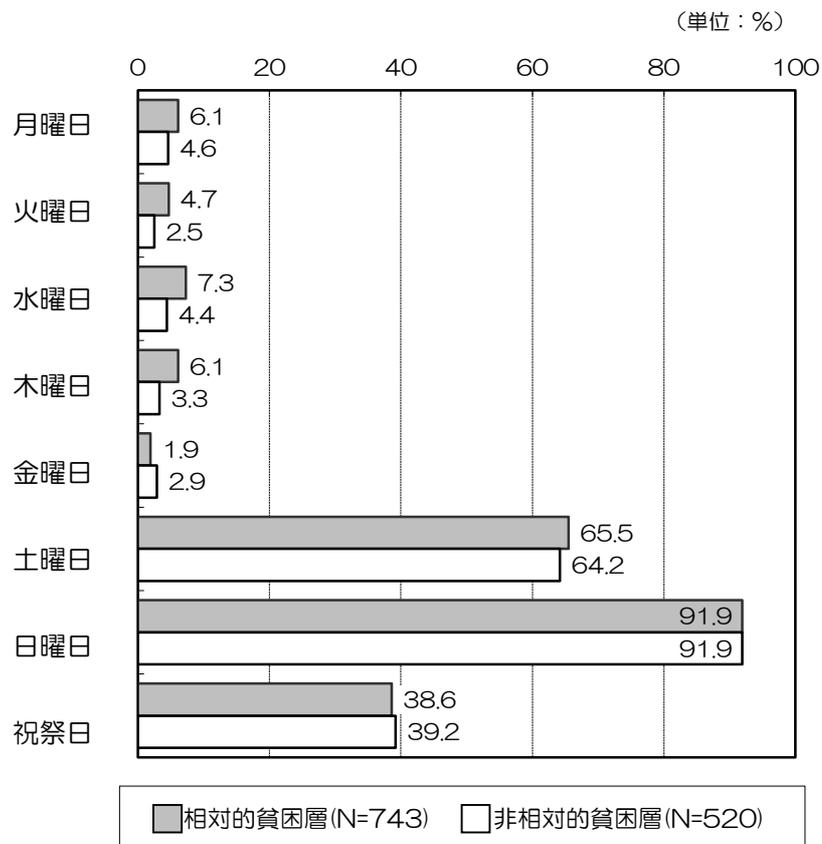
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、父子世帯では他世帯と比べて、「土曜日」と回答した割合が低い。



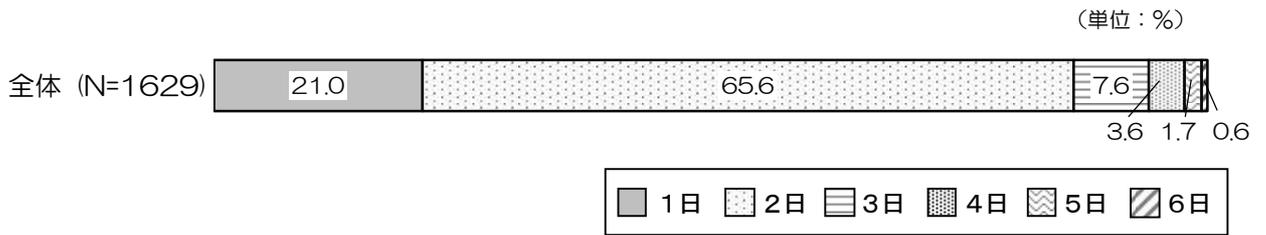
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層と非相対的貧困層を比べて、あまり違いはみられない。



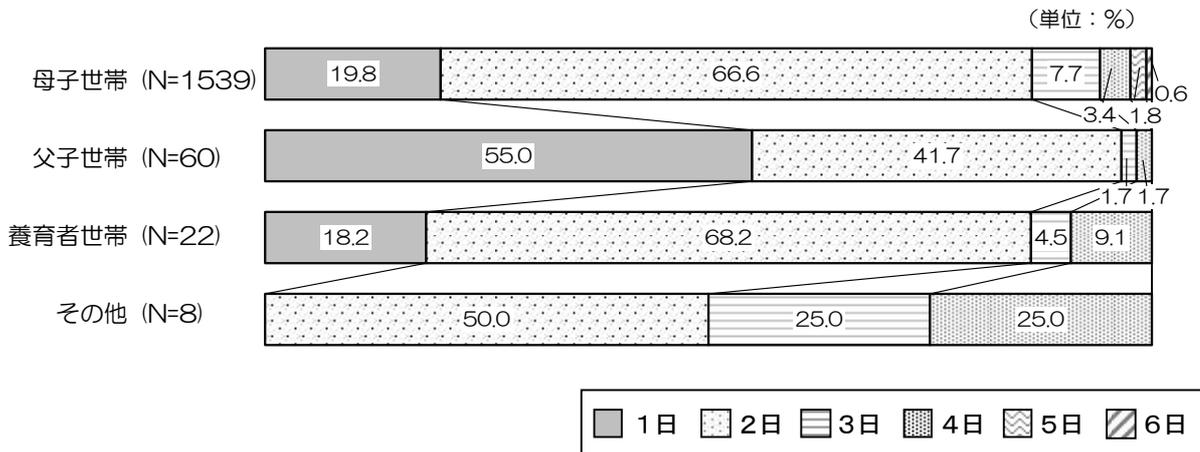
2) 休日の日数(週当たり)

「2日」と回答した割合が65.6%と最も高く、次いで「1日」が21.0%となっている。



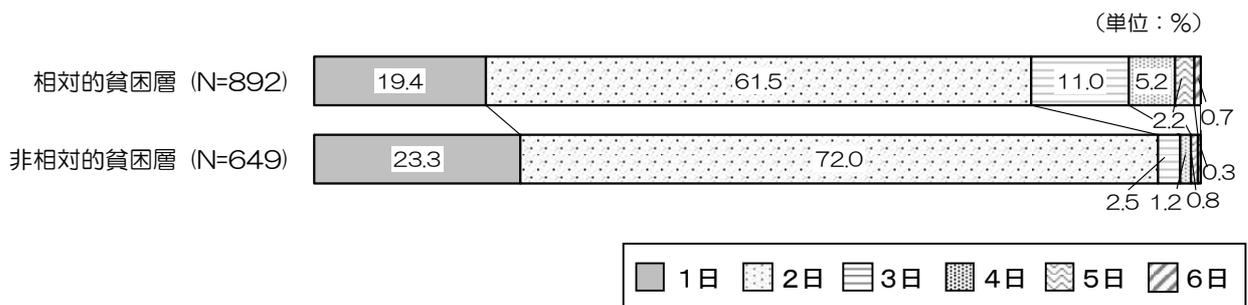
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、父子世帯では他世帯と比べて、「1日」と回答した割合が高く、「2日」と回答した割合が低い。



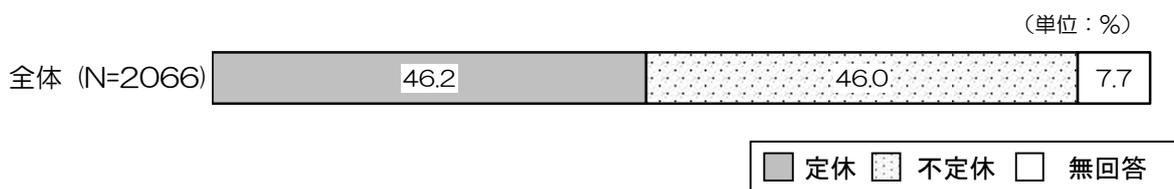
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、【3日以上】と回答した割合が高く、「2日」と回答した割合が低い。



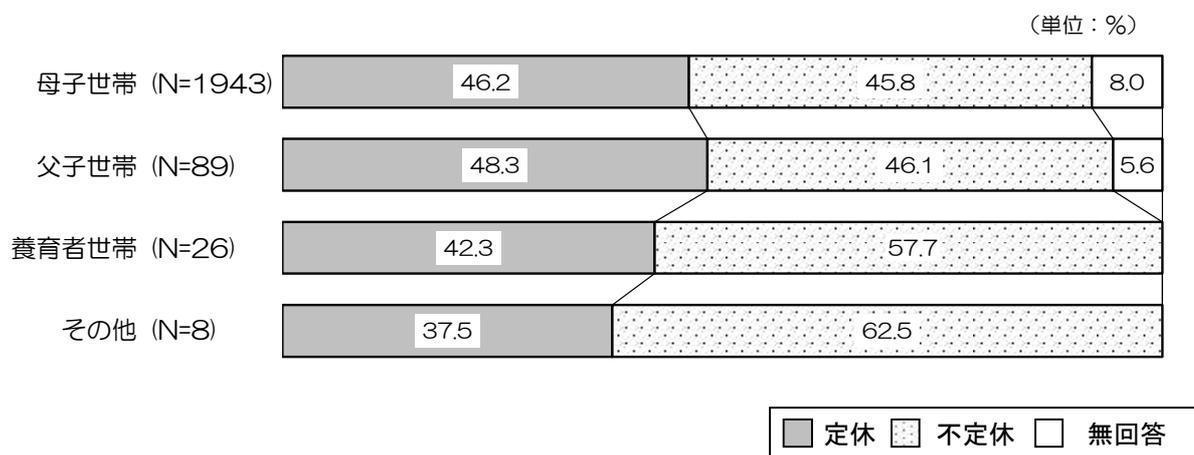
3) 定休・不定休

「定休」と回答した割合が 46.2%、「不定休」が 46.0%となっている。



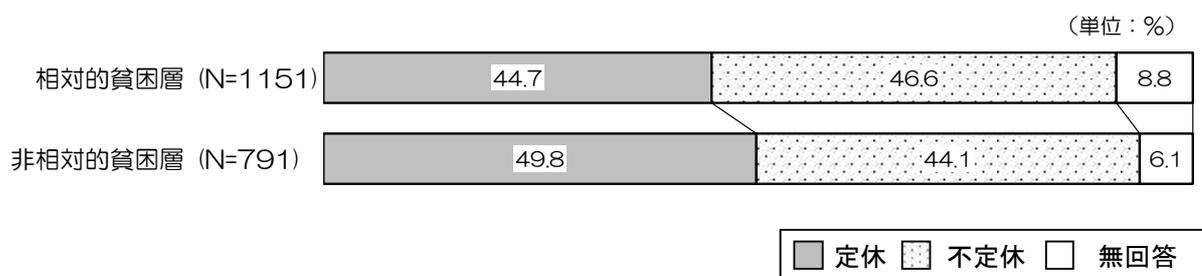
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、養育者世帯・その他世帯では母子世帯・父子世帯に比べて、「定休」と回答した割合が低い。



【相対的貧困層別】

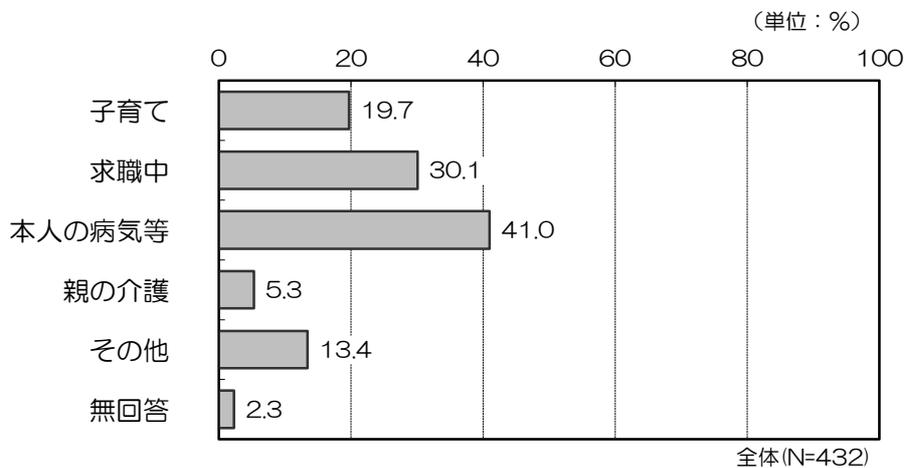
相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「定休」と回答した割合が低い。



問6 あなたは現在仕事をしていますか。

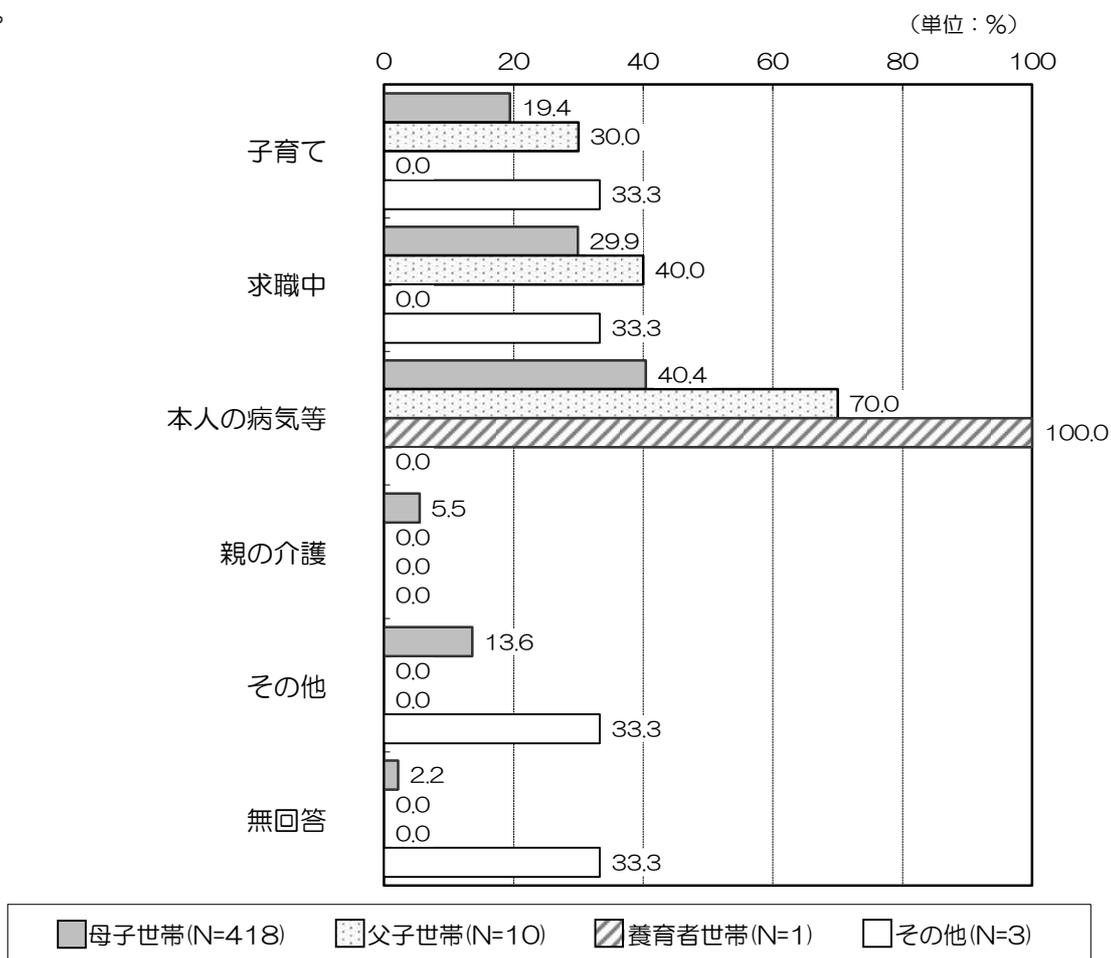
問6-2. 問6で「2 していない」と回答した方におたずねします。その理由はいずれになりますか。(あてはまるものすべてに○)

「本人の病気等」と回答した割合が 41.0%と最も高く、次いで「求職中」が 30.1%となっている。



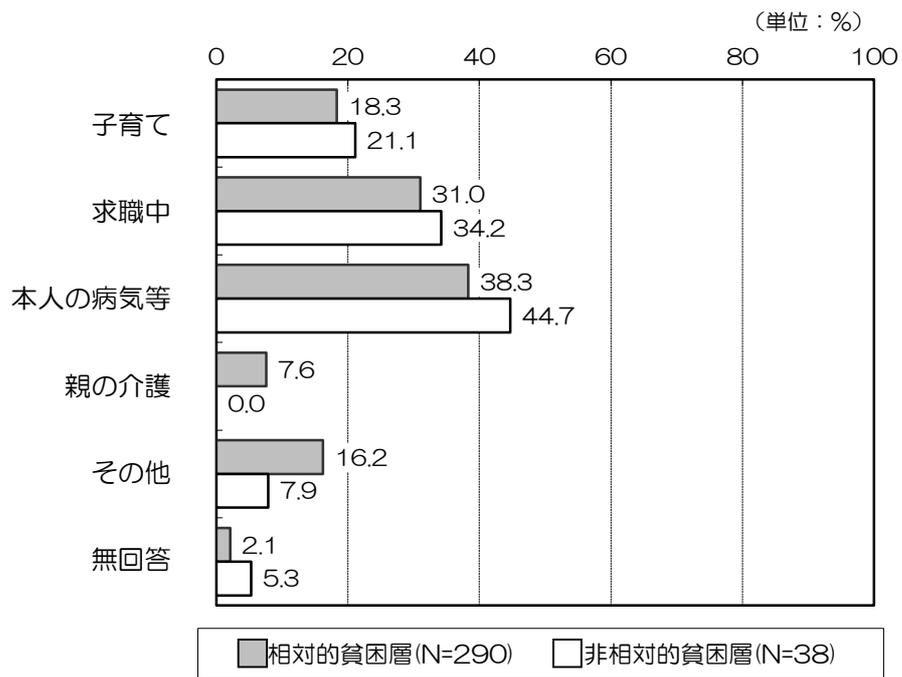
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、父子世帯では母子世帯と比べて、「本人の病気」「子育て」「求職中」と回答した割合が高い。



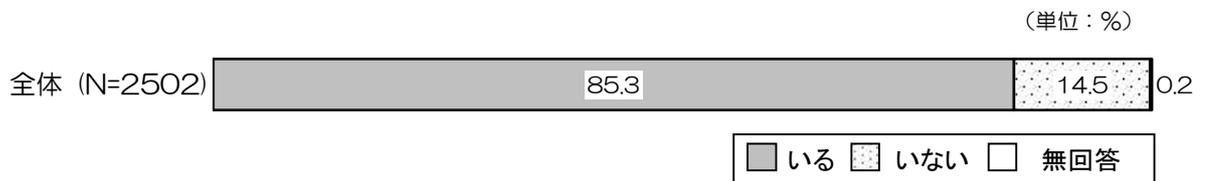
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「親の介護」と回答した割合が高く、「本人の病気等」と回答した割合が低い。



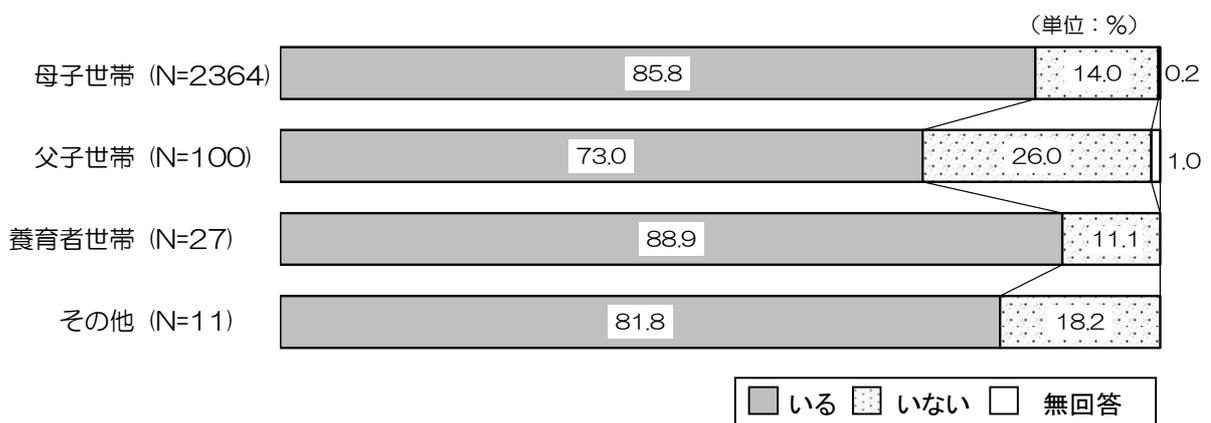
問7. 困ったときに相談する相手はいますか。

「いる」と回答した割合が 85.3%、「いない」が 14.5%となっている。



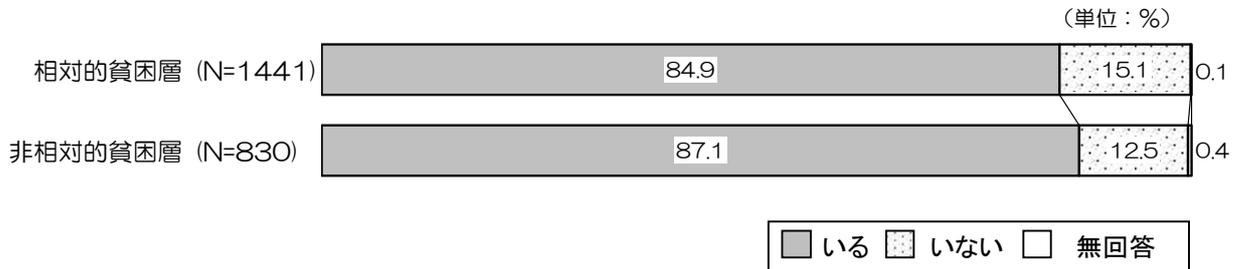
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、父子世帯では他世帯に比べて、「いる」と回答した割合が低い。



【相対的貧困層別】

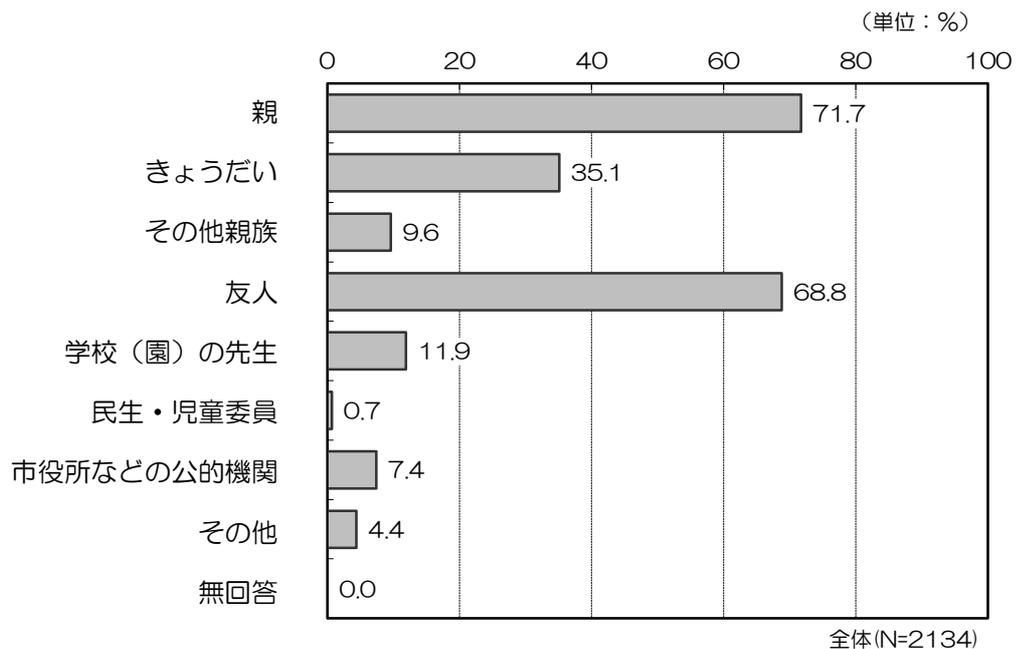
相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では、困ったときに相談する相手が「いる」と答えた割合が 84.9%、非相対的貧困層では 87.1%であった。



問7 困ったときに相談する相手はいますか。

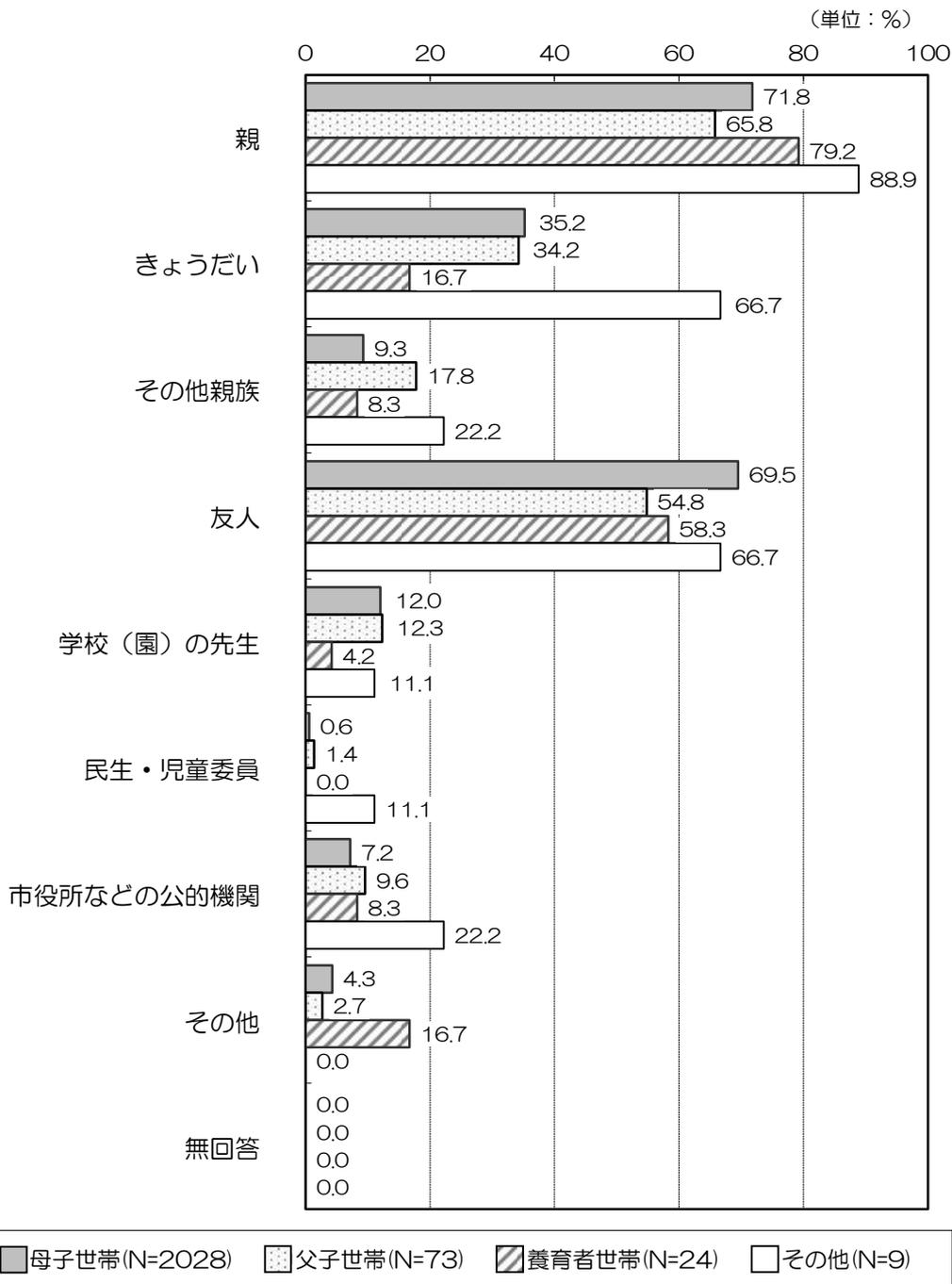
問7-1. 問7で「1 いる」と回答した方におたずねします。それはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「親」と回答した割合が 71.7%で最も高く、次いで「友人」が 68.8%となっている。



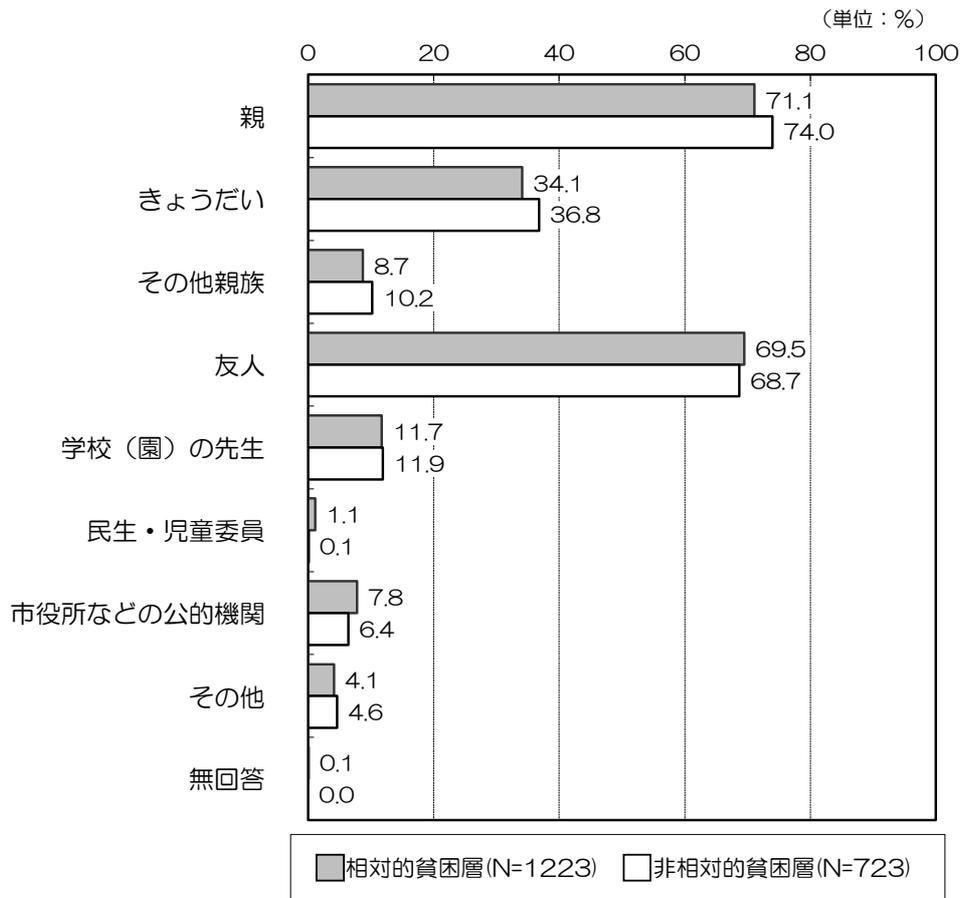
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、父子世帯では他世帯に比べて、「その他親族」と回答した割合が高く、「親」「友人」と回答した割合が低い。養育者世帯では他世帯に比べて、「親」と回答した割合が高く、「きょうだい」「学校（園）の先生」と回答した割合が低い。



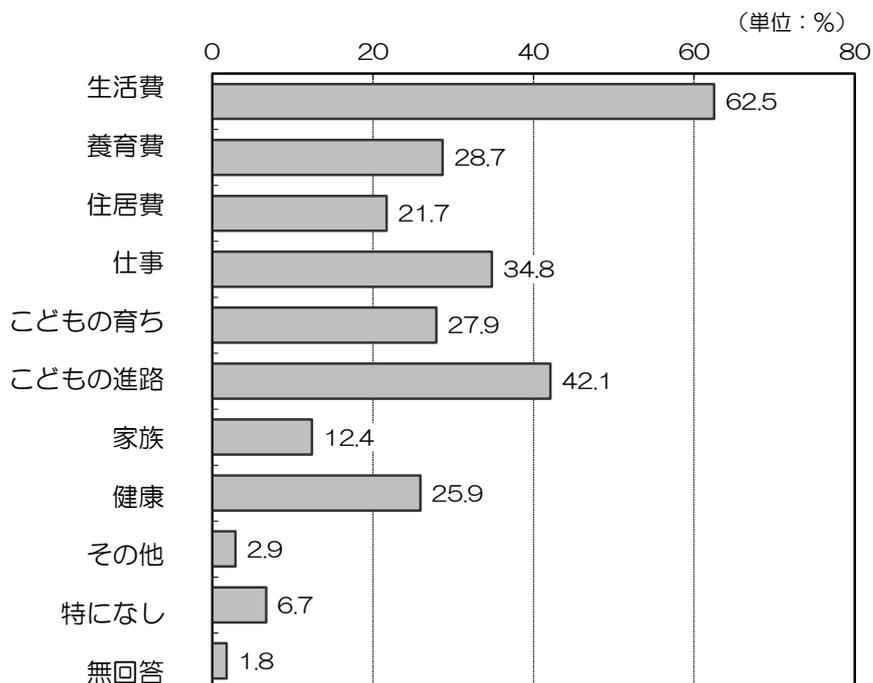
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では、非相対的貧困層と比べて「親」「きょうだい」「その他親族」と回答した割合が低い傾向にあり、「民生・児童委員」「市役所などの公的機関」と回答した割合が高い傾向があった。



問8. あなたは現在、ご自身の生活に関してどのようなことで悩んでおられますか。(あてはまるものすべてに○)

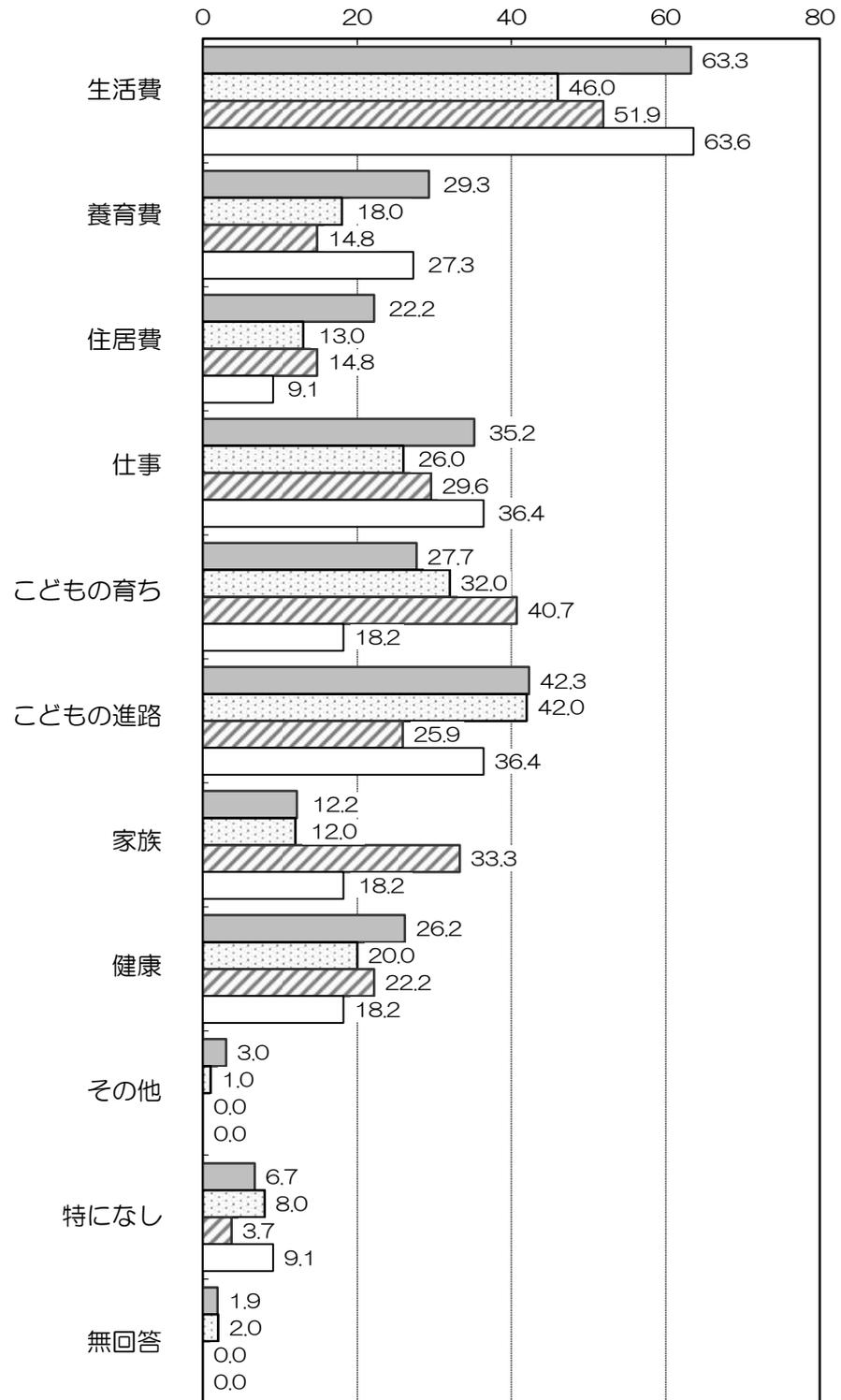
「生活費」と回答した割合が62.5%と最も高く、次いで「こどもの進路」が42.1%、「仕事」が34.8%となっている。



【世帯状況別】

世帯状況別にみると、母子世帯・その他世帯では他世帯に比べて、「生活費」「養育費」「仕事」と回答した割合が高い。父子世帯では他世帯に比べて、「生活費」「仕事」と回答した割合が低い。養育者世帯では他世帯に比べて、「こどもの育ち」「家族」と回答した割合が高く、「養育費」「こどもの進路」と回答した割合が低い。

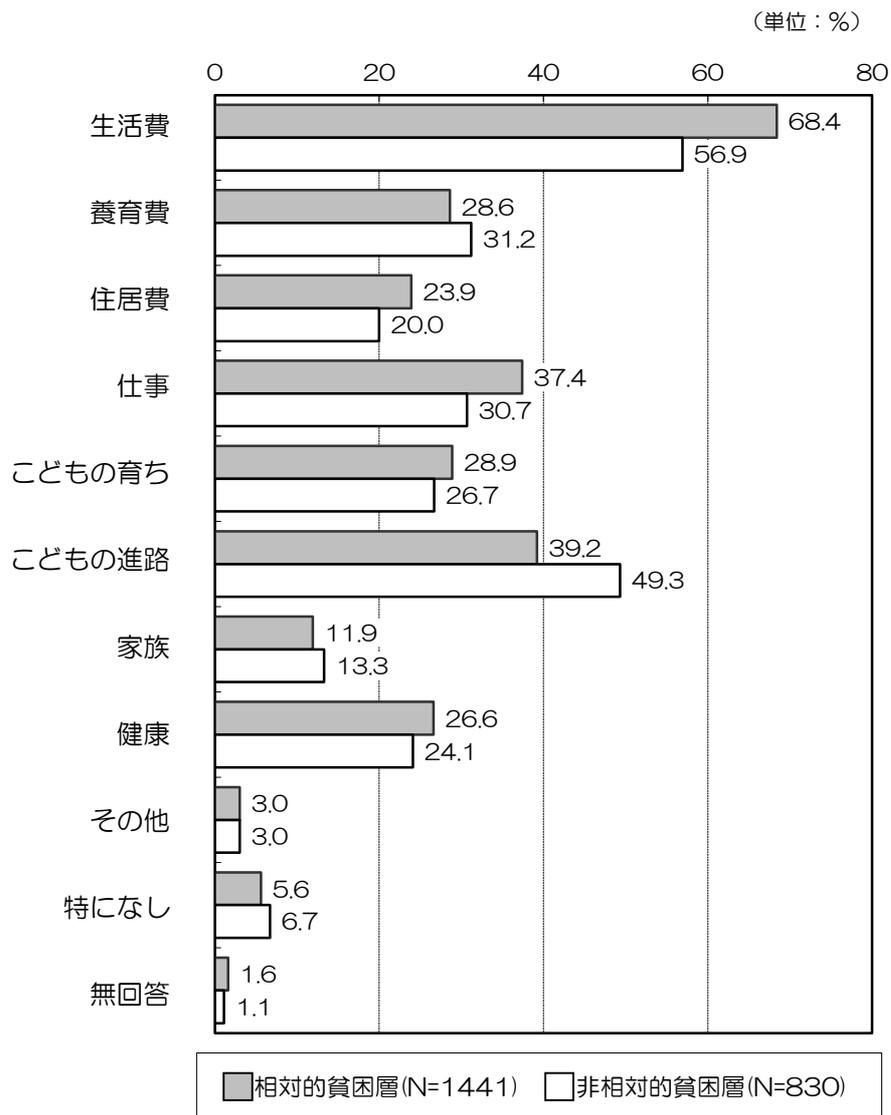
(単位：%)



■母子世帯(N=2364) ■父子世帯(N=100) ▨養育者世帯(N=27) □その他(N=11)

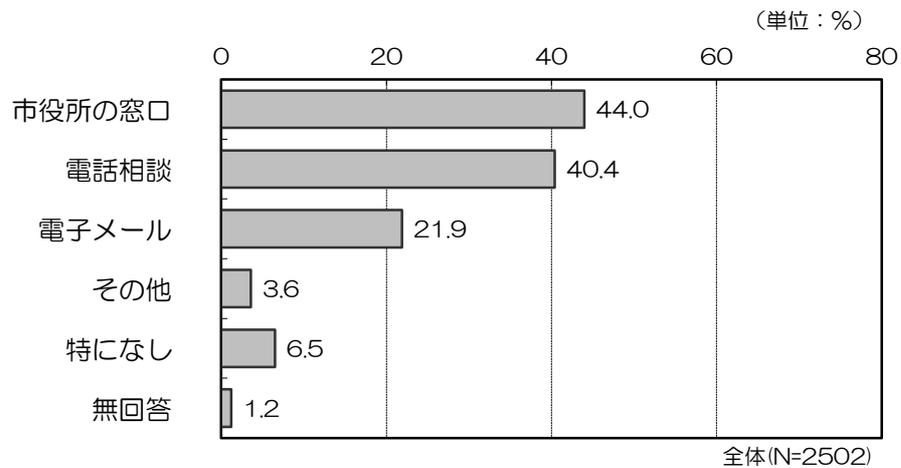
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「生活費」「仕事」「住居費」と回答した割合が高く、「こどもの進路」と回答した割合が低い。



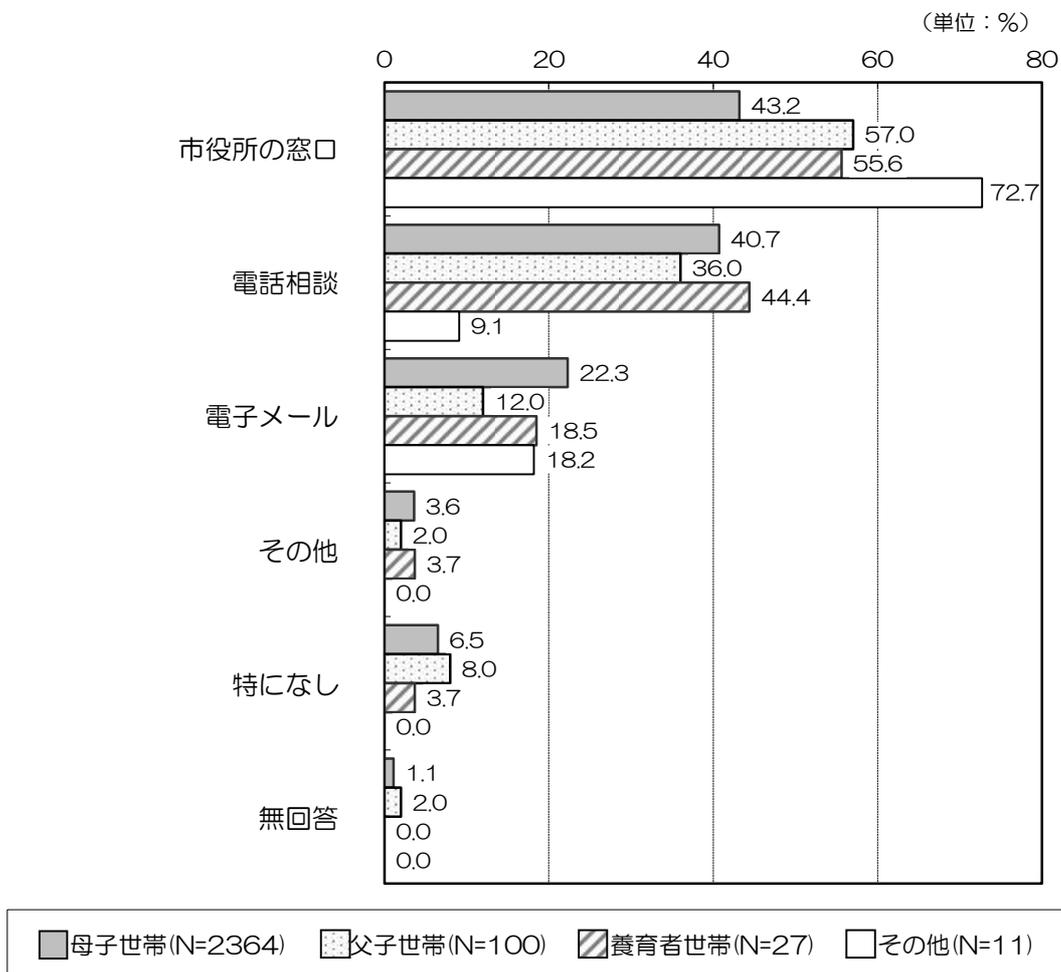
問9. 市役所に相談する場合、あなたが相談しやすい方法はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「市役所の窓口」と回答した割合が44.0%と最も高く、次いで「電話相談」が40.4%となっている。



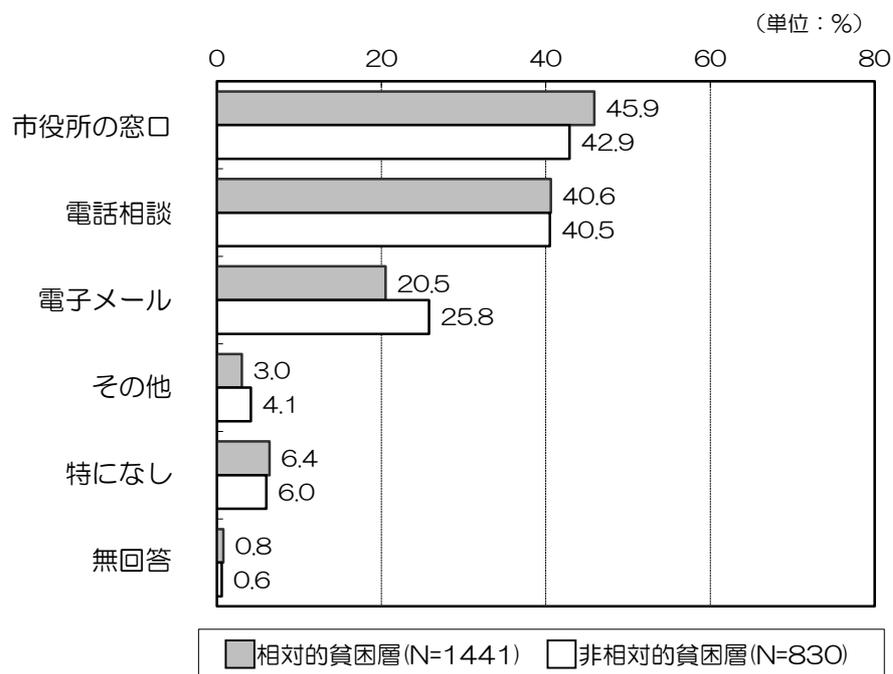
【世帯状況別】

世帯状況別にみると、母子世帯では他世帯に比べて、「電子メール」が高い。父子世帯では他世帯に比べて、「電子メール」が低い。養育者世帯では他世帯に比べて、「電話相談」が高い。その他世帯では他世帯に比べて、「市役所の窓口」が高く、「電話相談」が低い。



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別にみると、相対的貧困層では非相対的貧困層と比べて、「市役所の窓口」と回答した割合が高く、「電子メール」と回答した割合が低い。



Ⅲ. 調査票

ひとり親世帯の生活に関するアンケートご協力をお願い

このアンケート調査は、子育て世帯のくらしの状況等をおたずねすることで、保護者の方のお声を事業に反映させていきたいと考え実施するものです。

アンケートにご記入の上、児童扶養手当現況届と一緒にご持参ください。当日、窓口で回収させていただきます。お答えは無記名であり調査結果はすべて統計的に処理され、この調査目的以外に使用することはありません。ご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

【お問い合わせ先】 子育て相談課 電話：(0742) 34-4804

■ 質問文をお読みいただき、あてはまる番号を○で囲んでください。

問1 あなたの世帯は次のどれにあてはまりますか。

1 母子世帯	2 父子世帯
3 養育者世帯（祖父母が養育）	4 その他（ ）

問2 あなた以外の家族構成を教えてください。

1 未就学（ ）人	2 小学生（ ）人	3 中学生（ ）人
4 高校生（ ）人	5 大学生・専門学校生（ ）人	
6 就労しているお子さん（ ）人	7 あなたの父・母（ ）人	8 その他親族（ ）人

問3 あなたの世帯の手取り（公的手当を含む）収入の年間額はいくらですか。

1 100万円未満	2 100～200万円未満	3 200～300万円未満
4 300～400万円未満	5 400～500万円未満	6 500万円以上

◎ 高校生までのお子さんについておたずねします。対象のお子さんが2人以上いる場合は、一番上のお子さんのことをお答えください。

問4 学校（園）の先生や家族以外にお子さんと、あそびや学習などでよく接する大人はいますか。（あてはまるものにすべて○）

1 近所の住人	2 塾・習い事の先生	3 児童館のスタッフ
4 民生・児童委員	5 その他（ ）	6 いない

問5 放課後、自宅以外にお子さんがよく過ごす場所はありますか。

1 ある →問5-1へ	2 ない →問6へ（裏面）
-------------	---------------

問5-1 問5で「1 ある」と答えた方におたずねします。そこはどこですか。

1 学校	2 バンビーホーム（放課後児童クラブ）	3 塾	4 習い事
5 公園	6 その他（ ）		

< 裏面につづきます >

◎あなたについておたずねします。

問6 あなたは現在仕事をしていますか。

- 1 している →問6-1△ 2 していない →問6-2△

問6-1 問6で「1 している」と回答した方におたずねします。

1日の勤務は平均何時間ですか。(残業を含む) また、お休みの日はいつですか。

勤務時間 : _____ 時間 分

休日 : (_____) 曜日 / 週 _____ 日 (1. 定休 2. 不定休)

問6-2 問6で「2 していない」と回答した方におたずねします。その理由はいずれになりますか。

- 1 子育て 2 求職中 3 本人の病気等 4 親の介護
5 その他 (_____)

問7 困ったときに相談する相手はいますか。

- 1 いる →問7-1△ 2 いない →問8△

問7-1 問7で「1 いる」と回答した方におたずねします。それはどなたですか。
(あてはまるものにすべて○)

- 1 親 2 きょうだい 3 その他親族
4 友人 5 学校(園)の先生 6 民生・児童委員
7 市役所などの公的機関 8 その他 (_____)

問8 あなたは現在、ご自身の生活に関してどのようなことについて悩んでおられますか。
(あてはまるものにすべて○)

- 1 生活費 2 養育費 3 住居費 4 仕事 5 こどもの育ち
6 こどもの進路 7 家族 8 健康 9 その他 (_____)

問9 市役所に相談する場合、あなたが相談しやすい方法はどれですか。
(あてはまるものにすべて○)

- 1 市役所の窓口 2 電話相談 3 電子メール 4 その他 (_____)

< 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 >

ひとり親世帯の生活に関するアンケート 報告書

平成29年12月

発行	奈良市（子ども未来部 子育て相談課） 〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号
電話	0742-34-4804
ファックス	0742-34-4817
メール	kosodatesoudan@city.nara.lg.jp
